

日本のすみずみに
新しい楽しさ 新しい価値を おとどけます



2016年3月期 第1四半期

ゲオグループ決算補足資料



株式会社ゲオホールディングス
2015年8月

<http://www.geonet.co.jp/>

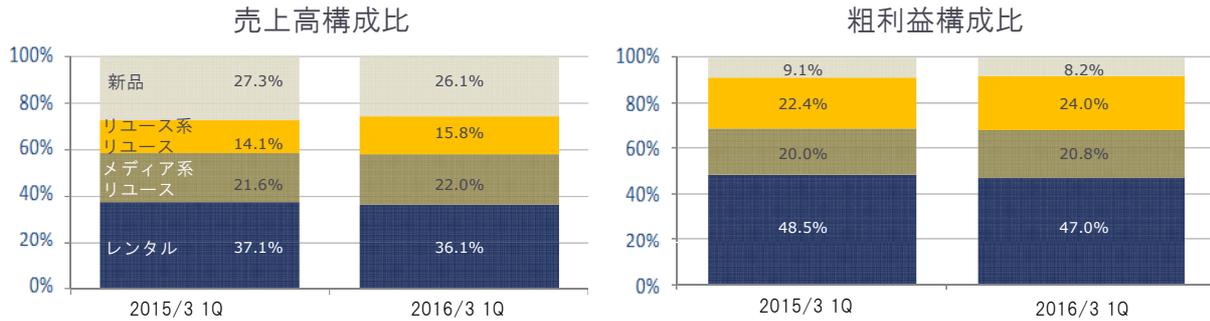
2016年3月期第1四半期連結PL要約



	2015/3 1Q		2016/3 1Q		前期差	前期比	2016/3 上期		2016/3 通期	
	実績	売上比	実績	売上比			当初予算	進捗率	予算	進捗率
売上高	59,190		59,639		448	100.8%	127,000	47.0%	275,000	21.7%
売上総利益	25,925	43.8%	27,721	46.5%	1,796	106.9%	55,000		115,000	
販管費	25,777	43.5%	23,891	40.1%	▲1,885	92.7%	52,100		106,500	
営業利益	147	0.2%	3,830	6.4%	3,682	2588.7%	2,900	132.1%	8,500	45.1%
経常利益	360	0.6%	4,082	6.8%	3,721	1131.5%	3,100	131.7%	9,000	45.4%
税引前純利益	18	0.0%	3,960	6.6%	3,941	20854.9%				
純利益	1,641	2.8%	2,470	4.1%	828	150.5%	1,300	190.0%	4,500	54.9%



要因分析1(主要商材別売上高・粗利益)



百万円	2015/3 1Q		2016/3 1Q	
	実績	実績	前期差	前期比
レンタル	19,750	① 19,320	▲429	97.8%
リユース品計	18,988	20,222	1,234	106.5%
メディア系	11,494	② 11,780	286	102.5%
リユース系	7,493	③ 8,441	948	112.6%
新品	14,557	④ 13,979	▲578	96.0%

2015/3 1Q		2016/3 1Q		前期差	前期比
実績	粗利率	実績	粗利率		
11,533	58.4%	11,864	① 61.4%	330	102.9%
10,077	53.1%	11,322	56.0%	1,245	112.4%
4,755	41.4%	5,246	② 44.5%	490	110.3%
5,321	71.0%	6,075	③ 72.0%	754	114.3%
2,159	14.8%	2,083	14.9%	④ ▲75	96.5%

- ① 全般的にタイトル不足で売上は低調であったが、仕入の減少等で、結果的に粗利率が向上したため、利益に貢献 好調なレンタルコミックは、売上・利益双方に貢献
- ② 中古ゲームも盛り上がりがなく売上不調が続くが、中古携帯の躍進で補う
- ③ 新店開設が遅れるも、既存店が堅調に推移
- ④ ヒット商材が乏しく売上見通しを下回るが、利益面でのインパクトは小

注) レンタルショップ及びリユースショップ別ではなく、レンタルショップ及びリユースショップにおける各商材ごと(レンタル・メディア系リユース・リユース系リユース・新品)の категорияで集計しております。



要因分析2(販管費要約)

	2015/3 1Q		2016/3 1Q		前期差	前期比
	実績	売上比	実績	売上比		
広告宣伝費	603	1.0%	① 483	0.8%	▲120	80.1%
販売促進費	310	0.5%	159	0.3%	▲151	51.3%
販売費計	2,243	3.8%	1,803	3.0%	▲439	80.4%
人件費計	12,096	20.4%	② 11,706	19.6%	▲389	96.8%
水道光熱費	1,425	2.4%	1,248	2.1%	▲176	87.6%
地代家賃	4,984	8.4%	4,950	8.3%	▲33	99.3%
減価償却費	1,041	1.8%	992	1.7%	▲48	95.3%
備品消耗品費	975	1.6%	③ 501	0.8%	▲473	51.4%
修繕費	281	0.5%	④ 421	0.7%	140	149.9%
その他諸経費計	11,212	18.9%	10,347	17.4%	▲865	92.3%
のれん償却	225	0.4%	33	0.1%	▲191	14.8%
販管費計	25,777	43.5%	23,891	40.1%	▲1,885	92.7%

- ① 「ゲーム」「レンタル」タイトル不足に応じたプロモーションの抑制
- ② 売上減少を見据えた人員の効率的配置による抑制
- ③ 店舗改装の減少(前期はファミリーブック18店舗改装)
- ④ LED照明導入工期遅れにより当初予定より減少



・上期につき上方修正 通期は据え置き

(百万円)	通期見通し									
	上期見通し				下期見通し		売上比			
	1Q実績	売上比	2Q見通し	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比
売上高	59,639		67,361		127,000		148,000		275,000	
売上総利益	27,721	46.5%	28,279	42.0%	56,000	44.1%	② 59,000	39.9%	115,000	41.8%
販管費	23,891	40.1%	① 27,109	40.2%	51,000	40.2%	55,500	37.5%	106,500	38.7%
営業利益	3,830	6.4%	1,170	1.7%	5,000	3.9%	3,500	2.4%	8,500	3.1%
経常利益	4,082	6.8%	1,118	1.7%	5,200	4.1%	3,800	2.6%	9,000	3.3%
純利益	2,470	4.1%	230	0.3%	2,700	2.1%	1,800	1.2%	4,500	1.6%

(背景)

- ①期ずれした出店・LED化費用を見込む
- ②レンタルにつき、VOD市場の競争激化が見込まれる中、タイトル充実の追い風を踏まえ、市場活性の絶好機と捉え、「柔軟な料金設定」「仕入の積極実施」「広告宣伝・販売促進の積極化」により、顧客数・売上の維持向上に注力

⇒市場動向を見極め修正

店舗数の推移



②セカンドストリート広島大芝店 (新規出店)



③セカンドストリート相模原光が丘店 (JSからSSへ屋号変更)

	2015/3	新規出店	屋号変更	融合⇄単体	2015/6	前期末増減
メディア系	983				983	
内ゲオモバイル単独店舗	3	① 3		メディア系3店閉店	6	+3
融合系	98			▲2	96	▲2
リユース系	279	+12		+2	293	+14
ジャンプストア(JS)	135	+2	▲3	+2	136	+1
セカンドストリート(SS)	144	② +10	③ +3		157	+13
ウェアハウス	10				10	
直営計	1,370				1,382	+12
代理店	92				93	+1
FC店	128				128	
合計	1,590				1,603	+13



①ゲオモバイル 渋谷センター街店

SS売場面積拡大のため
ゲオショップ閉鎖2店舗
融合系の増加方針は継続



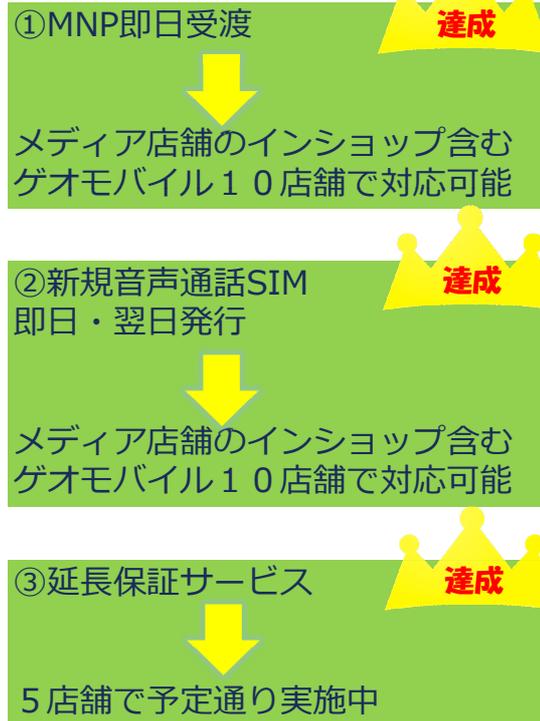
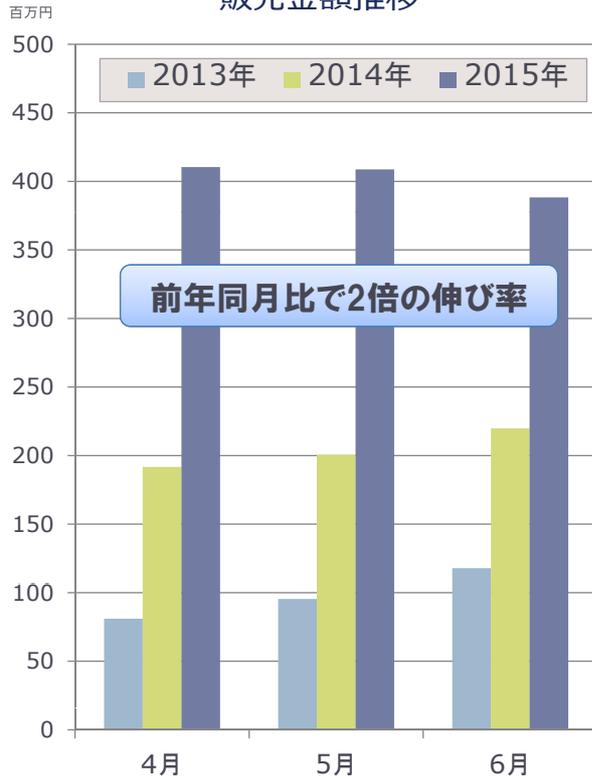
②セカンドストリート仙台六丁の目店 (新規出店)

- ・モバイル単独店舗出店については、3店舗にとどまる
- ・モバイル店舗20店出店計画については単独店舗に拘ることなく、ゲオショップ内コーナーからの店舗昇格も検討
- ・リユース店舗出店については、『新規出店・業態変更・移転の合計で100店舗』の目標継続



モバイルの進捗状況

販売金額推移



将来の見通しに関する記述についての注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化などによる潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。

お問い合わせ先

愛知県名古屋市中区富士見町8番8号 OMCビル5F
 株式会社ゲオホールディングス 情報管理部
 Tel.052-350-5711 Fax.052-350-5701
 e-mail info@geonet.co.jp